

次期 SIP「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」に係る
検討タスクフォース（第 19 回） 議事要旨

1. 日時 令和 5 年 1 月 17 日（火） 15：00～17：00
2. 場所 株式会社三菱総合研究所 大会議室 A 及び Web 会議システム
3. 出席者
 - (1) 座長、プログラムディレクター（PD）候補
寒川 哲臣 日本電信電話株式会社 先端技術総合研究所
常務理事 基礎・先端研究プリンシパル
 - (2) 有識者
萬 伸一 理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 副センター長
戸川 望 早稲田大学 理工学術院 教授
天谷 康孝 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 物理計測標準研究部門
応用電気標準研究グループ 主任研究員
 - (3) 関係省庁
総務省 国際戦略局技術政策課 研究推進室 室長
文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課 量子研究推進室 室長
経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 研究開発調整官
 - (4) 研究推進法人
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 経営企画部 次長
 - (5) 事務局
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官（量子・マテリアル担当）
4. 議題
 - (1) 量子コンピュータ実機運用に向けて
 - (2) 量子技術によるエネルギーマネジメント最適化の可能性探索
 - (3) ダイヤモンド NVC を用いた革新的量子電気計測技術
 - (4) その他

5. 配布資料

資料 1 萬副センター長資料

資料 2 戸川教授資料

資料 3 天谷主任研究員資料

資料 4 次期 SIP 検討タスクフォース等の進め方について

参考資料 1 次期 SIP 課題候補検討タスクフォースの設置について

参考資料 2 次期 SIP 課題候補検討タスクフォース構成員

6. 議事要旨

(1) 量子コンピュータ実機運用に向けて

萬副センター長が資料 1 を用いて説明を行った。

(2) 量子技術によるエネルギーマネジメント最適化の可能性探索

戸川教授が資料 2 を用いて説明を行った。

(3) ダイヤモンド NVC を用いた革新的量子電気計測技術

天谷主任研究員が資料 3 を用いて説明を行った。

(4) その他

事務局より資料 4 を用いて、今後の進め方と日程についての説明を行った。

以上